

# わかやま母親通信

第54号 2017年6月3日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内  
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール：w\_haharen@wkn.or.jp

生命を生み出す母親は  
生命を育て  
生命を守ることをのぞみます

## 2017. 5. 21(日) 第62回和歌山県母親大会 in 紀の川市 を開催

### 「幸せに生きたい 平和に暮らしたい」の願いがかなう社会をめざして

初夏というよりも夏の暑さを感じさせる晴天の一日でした。紀の川市立貴志川中学校と貴志川生涯学習センターを会場として、県、紀の川市、岩出市及び両市教育委員会と8社のマスコミの後援を得て開催し、午前 518 名、午後 551 名(参加実数子ども 37 名を含む 711 名)の参加で盛会となりました。両市長からメッセージをいただきました。

「時代に合った・時代に求められる母親大会」を模索しつつ、午前中は、20 の分科会で想いを語り合い願いを交流しました。現地の特色ある分科会がいくつも作られ、貴重な学習、体験、見学ができました。中でも、地元の障害者団体の強い要望で設定された「精神障害のある人によりそって～家族の思いを出し合おう～」分科会は、教室いっぱいの参加者となりました。「62 回の母親大会の中で、初めて設定された分科会で、今まで話せなかったことをいろいろと交流できて本当に良かった。」との感想が寄せられました。「たのしい乳幼児期を」「豊かな児童期を」分科会も、地元の保育士や教員サークルのみなさんの尽力で内容豊かに進められ、多くの親子が参加し、活動を楽しみ子育て交流ができました。

午後の全体会は、地元障害者作業所の中にある「ポズック楽団」によるチンドン屋さんの演奏でオープニングしました。会場がパッと明るく温かい雰囲気になりました。

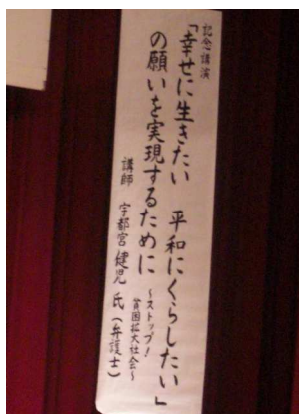
#### (感想文から)

- \* ポズック楽団の活動は、facebook など知っていたのですが、初めて公演を見ることができ、嬉しかったです。とても楽しい気持ちを届けていただきました。
- \* 素晴らしかった。何とかマスメディアに登場して、「人は幸せになるために生まれ来るんだよ」とその笑顔で伝えていただきたい。レベルの高いパフォーマンスに感動！
- \* 愉快的な演奏に元気をもらいました。またどこかで、元気なパフォーマンスを見ることが出来ることを期待しています。



各地の運動交流は、下記の4団体の粘り強い取組や訴えが報告されました。

- 1 紀の川市精神障害者家族会の活動について(家族会)
- 2 女性が自立できる年金を！(年金者組合和歌山県本部)
- 3 レッドアクション 30回を超えてまだまだ…(新婦人和歌山市支部)
- 4 学力テスト対策で、本当の学力は身に付くのか(和教組女性部)



記念講演は、弁護士の宇都宮健児氏を迎えて、『「幸せに生きたい 平和にくらしたい」の願いを実現するために～ストップ！貧困拡大社会～』と題して講演をしていただきました。貧困と格差が拡大する政治・経済の仕組みとそれを解消していく方向について、具体的な例を示していただきながら分かり易く解き明かしていただきました。

講演内容は、次ページに掲載しています。

さらに、「子ども医療費の拡充要請」署名、『共謀罪』法案を廃案に」のはがき行動の二つの提起をしました。

要請署名 226 枚 429 筆

抗議はがき 186 枚

はがきは、安倍首相宛に送付しました。要請署名は、時機を見て、仁坂吉伸県知事へ提出します。

**「主権者は、私たち国民です。その誇りをもって…。**

**だまされない。**

**あきらめない。**

**立ち止まらない。」**

と決意を示した大会宣言を採択し、各地で要求運動をしていくことを確認し合いました。

「平和と生命とくらし」を守る母親運動を粘り強く広げ続け、来年は日高郡市でお会いしましょう。

## **安倍総理 戦後積み上げてきた民主主義を、これ以上壊さないで下さい**

### **物言えぬ監視社会をまわく**

#### **「共謀罪」は廃案に！**

過去3度も廃案になった「共謀罪」の審議が行われています。共謀罪は捜査機関が捜査対象を決めるなど「一般の人が対象になることはありません」という首相の言葉は到底信じられません。

戦時下を生きてきた人びとは、「戦闘で天皇の話をしただけで密告され拷問を受けた」などの体験で、共謀罪の危険性を警告しています。

言いたいことも言えず、国家の思い通りに心を縛り、互いを監視させ、密告を奨励する暗黒社会はいやです。過去、幾多の試練に堪え手渡された日本国憲法と基本的人権を守るのは私たちの強い願いです。

「共謀罪」法案の廃案を求めます。

2017年5月21日

第62回 和歌山県母親大会

# 記念講演『『幸せに生きたい 平和に暮らしたい』の願い を実現するために ～ストップ！ 貧困拡大社会～』



講師 宇都宮 健児 氏(弁護士)

和歌山駅から和歌山電鉄貴志川線に乗ってきました。  
東京では見かけない電車で、外国の方も乗っていました。

一 憲法は今最大の危機を迎えている

今、貧困と格差が広がっており社会保障が削減される  
中で、「幸せに生きたい」が危なくなっています。また、

「平和に暮らしたい」のに、憲法違反の安保法制＝戦争法」が強行され、さらに憲法9  
条を変えようという首相の発言が憲法記念日に飛び出す社会情勢になっています。だからこそ、「幸せに 平和に」の声を全国各地で挙げていくことが重要になっています。

憲法が施行されて70年になりますが、この間全く改正されることなく維持されてき  
ました。まだ明文改憲はされていませんが、この安保法制の「成立」によって実質的に  
解釈改憲をやってしまったんですね。\*米国の対日要求に追随—「秘密保護法」も「共  
謀罪法案」も同様 \*ナチスヒットラーのやり方に酷似 \*自民党改憲草案の問題点

二 私たちの暮らしはどうなっているか

貧困と格差の拡大は深刻(子どもの貧困)ですが、その背景には、社会保障制度が充  
実していなかった上に非正規労働者(約4割)がすごく増えてきたことがあります。\*低  
い最賃 \*ブラック企業 \*生活保護の急増 \*医療難民 \*社会保障費の大幅削減

三 安保法制をなくし、憲法改悪をゆるさないために

国会で安保法制の廃止を求める勢力が多数派になれば、廃止することができますし、  
衆参で改憲勢力が3分の2を下回れば改憲発議ができなくなります。さらに、司法が  
違憲と判断すれば、安保法制は廃止できます。\*公選法の民主化 \*司法の民主化

四 貧困と格差の拡大をストップさせるには

1 普通に働けば生活できる労働政策 2 権利としての社会保障制度の確立

3 公正な税制の確立と所得・富の再分配 4 憲法25条、27条、28条などの権利教育

五 『『幸せに生きたい 平和に暮らしたい』の願いを実現するためには

政治を変える必要があると思います。\*ソウル市の改革に学ぶ 私たち一人一人は微  
力ではあっても、無力ではないですね。つながり合えば、大きな力になって社会を変え  
ることができることを確信しています。いかに「微力」と「微力」をつなぎ合わせるこ  
とができるか、柔軟な運動とつなぎ合う工夫ですね。一緒にがんばっていきましょう。

《感想》

宇都宮さんの話が聴きたくて、串本からくろしお号と貴志川線を使って、3時間以上  
かけて(お金もかけて)やってきました。期待通りの素晴らしい話でした。

微力な私たちが一人一人手をつないで運動をつくっていく大切さをかみしめました。  
自分なりにやれることをやっと思いまして。まずは“つながる”でしょうか。

「<sup>いのち</sup>生命を生みだす母親は <sup>いのち</sup>生命を育て <sup>いのち</sup>生命を守ることをのぞみます」の一つの想いで結ばれて、母親大会は半世紀以上歩み続けてきました。

新憲法の下で、人間としての自由を得て女性の権利に目覚めた母親・女性たちは、全国各地で、「原水爆反対」の署名運動に立ち上がり、「核戦争から子どもを守ろう」と草の根の母親運動を広げました。和歌山県でも、毎年母親大会に集まり、願いと運動を交流し、学び合い、切実な要求を実現させてきました。

62回を迎えた今年、紀の川市・岩出市と両教育委員会をはじめ、和歌山県、及びマスコミ8社から後援をいただいて、和歌山県母親大会を開催しました。

「時代に合った・時代に求められる母親大会」を模索しつつ、午前中は20の分科会で想いを語り合い願いを交流しました。現地の特色ある分科会がいくつもつくられ、貴重な学習、体験、見学ができました。

午後の全体会では、貧困と格差が拡大する政治・経済の仕組みとそれを解消していく方向について、解き明かしていただきました。政治は本来、国民の安全なくらしと幸せの追及をめざすものであり、それは日本国憲法が保障しているのだということを再認識することができました。

今年は憲法施行70年。現政権は、法律の専門家の9割までが「憲法違反」と指摘した安保法制(戦争法)を強行採決し、すでに実行に移し始めました。さらに、国民の自由な思考や意見表明さえ権力側の判断一つで弾圧を可能にする「共謀罪」法案を急ぎ成立させようとしています。平和憲法に基づく国づくりを発展させる道ではなく、ひたすら「戦争できる国づくり」へ突き進み、期限を示し明文改憲を公言しています。

沖縄の民意を踏みにじっての高江のヘリパット建設や辺野古新基地建設強行、防衛費の相次ぐ増大と社会保障費の削減、国家に奉仕する人間づくりへの教育「改革」、さらに、消費税増税、原発再稼働、労働法制の改悪など、民意を無視した暴走政治をこれ以上許すことはできません。

主権者は、私たち国民です。その誇りをもって、「生命(いのち)をおびやかすこと、くらしを破壊すること、自由を抑圧すること」に反対します。

**だまされない。あきらめない。立ち止まらない。**

世代を超え、地域を超えて結び合い、「戦争する国づくり」「人権弾圧」「民主主義の破壊」は絶対許さないと、声を挙げ行動の輪を広げていきましょう。

そして、みんなの願いと運動を持ち寄り、また来年お会いしましょう。

2017年5月21日

第62回和歌山県母親大会